

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	天龍峡再生道路整備事業	会計	一般会計	事業No.	552	施策順No.	11-063	
		事業種別	政策・重点	予算科目	8-2-3-11-6			
政策	1 多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり			課等名	土木課			
施策	11 事業者自らが実施するパワーアップ活動			事業期間	開始	17	終了	23

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	天龍峡周辺の住民及び天龍峡を訪れる観光客 三遠南信自動車道天龍峡ICから天竜峡駅を経て治水対策盛土地域を結ぶ道路						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない	
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度		
		路線延長:m	1100	1100	1100	1100	1100		
		天龍峡を訪れる観光客の数:人 (統計上1年前のデータ)	163200	162400	174500	175200			
意図		わかりやすく、安全に移動ができる 大型バスがスムーズに交互通行できる道路が整う							
対象をどう変えるか		事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
		進捗率:% 1410199283/1650000000 (当年度までの実施済額/全体事業費×100)	35.8	54.8	79.7	85.6	86.4	90	A
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】	用地測量、物建調査が完了し用地買収に着手でき、事業を進めることができました。								

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	平成20年度の三遠南信自動車道天龍峡ICの供用開始を受けて、ICから天竜峡駅を経て治水区域を結ぶ、「天龍峡活性化プログラム」に整合した道路整備を進める。 市道川路220号線 L=1,100m W=5.5(7.0)m 平成19年度から地方道路交付金事業で実施(H21年度:地域活力基盤創造交付金、H22年度~:社会資本整備総合交付金)		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	1 工事施工、用地買収、物件補償(H21繰越) 2 工事施工、用地買収、物件補償、設計業務	1 施工延長幅員 用地買収 物件補償 2 施工延長幅員 用地買収 設計業務	1 L=54.6m W=5.5(7.0)m A=2,556.26㎡ 2件 2 L=54.6m W=5.5(7.0)m A=551.19㎡ 用地測量 1式 物件調査 1式
23年度実施計画	1 工事施工、用地買収、物件補償(H22繰越) 2 用地買収、物件補償	1 施工延長幅員 用地買収 物件補償 2 用地買収 設計業務	1 L=408m W=5.5(7.0)m A=83.44㎡ 5件 2 A=2,283.96㎡ 3件

3 事業コスト

事業費	特定財源	国庫支出金	122,595	63,745	82,500	特定財源内訳、補足事項 (国)社会資本整備総合交付金(活力創出基盤整備)(5.5/10) (地)合併特例(充当率95%)(そ)繰越金 21→22繰越明許費21,600千円 22→23繰越明許費107,000千円
		県支出金				
		起債	97,100	51,400	66,300	
		その他	520	520		
		一般財源	6,816	4,366	3,600	
	計(A)	227,031	120,031	152,400		
	正規職員所要時間					
	臨時職員等所要時間					
	人件費計(B)		0			
	トータルコスト A+B		120,031			

4 事業に対する市民や議会の意見

天龍峡の観光客の減少は著しく、早急な対策が望まれている。また、川路自治会からは、治水対策盛土地区から天竜峡駅周辺、さらに三遠南信自動車道天龍峡ICまでが結ばれることにより、観光や市民生活の利便性が高まるため、市道開設の要望書が提出され、強く要望されている。
--

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	事業者等が出荷額等を高める活動をする	施策の成果指標又はムトス指標	既存事業者の消費額(観光) 飯田下伊那:億円
この事務事業は施策の目的達成にどのよう に貢献しましたか	4年間の振り返り	市道川路220号線道路改良L=1,100mの内1工区、治水対策盛土地区から天龍峡駅の間L=370mが完成した。		1店舗あたりの売上高(小売業) 飯田市:千円
	後期に向けた課題	2工区、天龍峡駅から三遠南信自動車道天龍峡ICの間、L=730mの改良を進め早期完成を目指す必要がある。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫を してきましたか	4年間の振り返り	川路220号線、1工区L=370mの完成したことにより、天龍峡駅周辺へのアクセスが向上し天龍峡への観光客が増加した。		
	後期に向けた課題	2工区、三遠南信自動車道天龍峡ICから天龍峡駅までのL=730mの完成により、天龍峡を訪れる観光客がわかりやすく、安全に移動できことにより、誘客力の向上に結びつく。		
コストを削減するためにどのような工夫を してきましたか	4年間の振り返り	道路整備に必要な盛土材料を他事業の残土を利用するなど、コスト削減を図った。		
	後期に向けた課題	効率的な事業実施により、コスト削減を図る。		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	市道の整備であり、道路管理はとして道路整備を行った。		
	後期に向けた課題	天龍峡は飯田下伊那地域の観光拠点として重要であるため、その誘客力の向上についても市として関与する必要があり、引き続きしが関与する。		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を發揮するために、行政はどのような働きかけをしてきましたか、又は、配慮してきましたか	4年間の振り返り	①市道の管理者は飯田市であり、通行車輛及び歩行者の安全確保。②道路管理者としての安全確保と利便性向上の道路整備。		
	後期に向けた課題	①市道の管理者は飯田市であり、通行車輛及び歩行者の安全確保。②道路管理者としての安全確保と利便性向上の道路整備。		
全体を通じて	4年間の振り返り	川路220号線、1工区L=370mの完成により治水対策盛土地区から天龍峡駅までの間のアクセスの向上、安全な通行の確保ができた。		
	後期に向けた課題	現在実施中の2工区、三遠南信自動車道天龍峡ICから天龍峡駅間の道路整備の完成によりアクセスが向上し安全でわかりやすい道路が整い、更なる誘客力の効果が発揮できる。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要はありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要はありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--	--------------------------------	-----------------------------------